

總持寺祖院

曹洞宗大本山

The Sōjiji Soin Father Temple
was founded in the year 1321 A.D.
by Keizan Zenji, the Zen Priest of Sōtō zen.



拝観記念スタンプ

平成 年 月 日

曹洞宗大本山 總持寺祖院

石川県輪島市門前町
電話(0768)42-0005(総受付)・42-1515(観光受付)

印刷: 石川印刷(株)



⑦伝燈院
開祖、豊山禅師の御靈を祀る当宗門最高崇敬の中心です。元禄六年(1693年)に再建されたものの2度の災禍にも一部は焼失したが、殆ど原型を留め、朝夕に厳かに僧侶の奉仕が為され、幽玄な趣を出している貴重な建物である。



⑧慈雲閣(觀音堂)

總持寺開基以前から伝わる觀音堂で、行基菩薩の建立と伝えられる当院最古の建造物で、町文化財僧形觀世音菩薩が秘佛として安置され、毎年7月17日に觀音祭が行われ、その時には御開帳になる。



⑨僧堂(坐禪堂)

自己修行の坐禪を行う場所。昭和5年に再建され、間口20m、奥行14.55m、書院風の火灯窓と白壁は実に美しい調和で落ちつきをかもし出している。朝夕、修行僧が坐禪に励んでいる。



①經藏

加賀六代藩主、吉徳公より寄進された。寛保3年(1743年)12月に建立され、漆塗り鍍金具で重圧な美しさを出している。昭和42年石川県重要文化財に指定された。



Map of Sojiji Precincts

Shows the path pilgrims usually follow.



②山門

境内の中央に威容を誇るこの建物は、總擡造りで、高さ17.4m、間口20m、奥行14.4mで昭和7年に完成し、楼上に觀音、五百羅漢の古仏を祀つてある。2階正面に墨一枚もある大きな“諸岳山”的扁額は前田利為公の筆によるものである。

⑤法堂(大祖堂)
總擡造りの大伽藍で、正面に開祖豊山禅師、右に道元禅師と二祖峨山禅師を祀り、左殿に本山守護神、三宝大荒神と總持寺の前身諸岳寺住職定賢律師を祀つてある。欄間に豊山禅師の誕生から諸国行脚の一袋を山形県の名工が親子二代に亘って見事に彫刻している。



④仏殿

大正元年(1912年)に再建。間口20m、奥行16.3m、の大きなもので、正面に御本尊“釈迦牟尼如来”を、右に大権修理菩薩、左に達磨大師を配している。客殿を兼ねた相見の間の襖の書は山岡鉄舟の作で、上段の花鳥の額も加賀の画家岸駒の作。前田家のものを岩本勝俊禅師より寄贈された。



③香積台

正面正面に韋馱天尊を安置してある。総受付、大講理場、配膳、浴場、東司を付属し(開通すると50畳の大広間になる)を有する、總持寺を運営する中枢部。

祖院巡拝 案内略図 (↑順路)

- 係員に従つて順序よく左側を通行してください。
- 酔つた人、他人に迷惑をかける行為をする人の参拝はお断りします。
- 喫煙は所定の場所として下さい。(それ以外は禁煙)
- 鐘、太鼓等鳴らし物には触れないで下さい。

お参りの心得

大本山總持寺祖院、正しくは、諸
嶽山總持寺祖院と言いまし
る。元享元年（一三二一年）瑩山紹
瑾禪師によって開創され翌元享二年
夏禪師に篤く帰依された後醍醐天皇
は綸旨を下され、總持寺を勅願所と
して、「曹洞賜紫出世第一の道場」と
定められた。

その後寺運益々隆盛を極め全国に
その末寺一万六千余りを數えるに至
つたが、明治三十一年四月十三日不
幸にして災禍により七堂伽藍の大部
分を焼失した。

これを機に、布教伝導の中心を神
廟として次々に堂宇が再建され、山
内約二万坪の境内には焼失をまぬが
れた伝燈院、慈雲閣、經藏などのほ
かに、七堂伽藍も建立され、山水古
木と調和し、風光幽玄な曹洞宗大本
山の面影をしのばせ、一大聖地とし
て現在に至っている。

境内をめぐれば、古色蒼然とした山
水や樹影の情趣に心が洗われる。現代
人が忘れかけている「日本の心」とい
うが、町では決して感じられない空気
がここにある。悠久の時空の流れの
なかで、その美しさはさらにみがかれ
ていく。

白壁と静寂

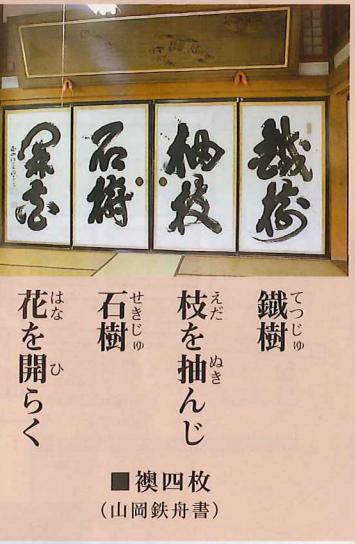
木々の緑に、より一層のその白さを
際立たせる僧堂。静寂で張りつめたこ
の空間で、厳しい己との戦いが繰り広
げられる。外観の白壁は、書院風の火
灯窓と調和し、実に美しい趣を呈して
いる。内なる厳しさがゆえの美しさな
のである。



【石川県指定有形文化財】
■金動五鉢鈴
石川県最古の五鉢鈴



■花鳥大額
(岸駒作)



枝を抽んじ
石樹
鐵樹
はな
花を開らく

■襖四枚
(山岡鉄舟書)



「すりこぎ」

己が身をすりへらしてぞ人のため
世のためにつくす御佛の慈悲

「しゃもじ」

己が身は水をも火をもいといなく
すくい上ぐるぞ御佛の慈悲



年中主要行事



三朝祈禱

一月一日～三日

寒修行

一月六日～二月三日

涅槃会

三月十日(天の子まき)

彼岸会

三月十七日～二十三日

彼岸会

五月八日(花祭)

高尾山大祭

五月十日

うらばん法会

八月一日～五日

毎晚施食鬼・説教

(毎晚施食鬼・説教
のためのお祭り)

羅漢講式供養

九月一日

羅漢講式供養

七月十六日

觀音祭

八月一日

成道会

十月二日

除夜の鐘

十一月三十一日

白山祭

十一月二日

開山忌法要

九月十二日～十五日

放生会

十月二日

成道会

十一月三十一日

大布薩懺悔

十二月二日

馬(絵画・韻翰筆)花鳥大額

岸駒作

桃尾長鳥鏡金手箱

石川県最古の五鉢鈴

青磁花入

天竜寺焼の秀作

四季花鳥

双幅・狩野派初期の正系
を継ぐ画家の作

金動五鉢鈴

石川県最古の五鉢鈴

水墨元画浪龍図

絵画・紙本

他、牡丹の図

虎(軸画・岸駒筆)、
馬(絵画・韻翰筆)花鳥大額

楳四枚

(山岡鉄舟畫)

作

楳四枚(山岡鉄舟畫)